

長野市森林経営管理計画(案)に対する市民意見等の募集 (パブリックコメント)結果及び計画(案)の決定について

1 市民意見等の募集(パブリックコメント)の結果について

(1) 実施概要

- ・ 募集期間：令和7年1月20日（月）から令和7年2月19日（水）まで【31日間】
- ・ 閲覧及び意見用紙配布：市ホームページ、森林いのしか対策課、支所、行政資料コーナー
- ・ 意見の提出方法：書面（持参、郵送、ファックス）、電子申請及び電子メール

(2) 募集結果

- ・ 意見提出：7名
- ・ 意見等：8件

対応区分	対応方針	件数
1	計画案を修正・追加する	0
2	計画案に盛り込まれており、修正はしない	1
3	計画案を修正せず、今後の取組で検討又は参考とする	5
4	検討の結果、計画案を修正しない	1
5	その他(状況説明、質問への回答等)	1
合 計		8

No.	該当ページ	意見等要旨	市の考え方(案)	対応
1	24	手入れの行き届いていない森林への記載についてP24では過去に森林整備を行った森林整備団地の更新や新たな団地を作成していく旨の記載があるが、手入れの行き届いていない森林についての記載がない。 人工林率や過去の森林整備履歴などからゾーニングし、手入れの行き届いていない森林の整備に森林環境譲与税を使用すべきである。	手入れの行き届いていない森林は、森林整備団地が作成されていない区域にあると考えられます。こうした手入れの行き届いていない森林については、P23の(1)(ア)森林整備団地による施業の集約化を行い整備を実施してまいります。なお、森林整備団地内の森林整備には国・県の補助事業を活用し、当該事業の対象にならないものについては森林環境譲与税を活用し、市の補助事業により実施しております。	2
2	1	今回の計画では、人工林の手入れがメインのように思う。天然林についても、同様に森林所有者や境界の問題が出てくるので、合意形成の取組を継続し、ノウハウを蓄積してください。	市内の森林は人工林も天然林も小規模で分散しています。今後、天然林が活用できる状況になっても、森林所有者をまとめて森林整備団地を作成する合意形成は必要と考えています。ご意見のとおり、ノウハウを蓄積してまいりたいと考えております。	3
3	2、26	長野市は周りを山に囲まれており、災害が起こらないように森林整備をお願いしたい。 最近松くい虫の被害が増えてきているので、被害が大きくなるように対応してください。	スギやカラマツを植栽した人工林は間伐等の整備を行うことで災害を防ぐ公益的機能が発揮されますので、本市においても森林整備を進めてまいります。 松くい虫の被害につきましては、市内でも増加傾向にありますので、既存事業に加えて森林環境譲与税を活用し、被害木の処理を進めてまいります。	3

No.	該当 ページ	意見等要旨	市の考え方(案)	対応
4	32	木製の積み木などは子供が想像を膨らませるおもちゃだと思っている。 是非、保育園など提供し子供たちが遊べるようお願いしたい。	おもちゃで遊ぼう木育事業は「学んで使おう木育プロジェクト」の一環で、幼少期から木に触れていただくことを目的としており、来年度以降も継続していく予定です。	3
5	42	昨年秋のながの森林・林業フェアには小さな子供がたくさん来ており、木に触れて森林や林業に関心を持ってもらうことは大切なので、今後の継続を望む。	令和6年度から森林環境税の徴収が始まり、市民の皆様には森林・林業への関心を持っていただくことを目的に「ながの森林・林業フェア」を開催しました。当日は、2,500人の参加者に来場いただきました。来年度以降も継続していく予定です。	3
6	23、50	多くの私有林が継承されずに放置され、特に集落周辺の里山の森林が荒廃し、有害鳥獣による被害も深刻である。このため、市が積極的に関わり、森林整備に取り組み、取組に欠かせない林道の整備も必要と思う。 中山間地域には地域が管理している山林が多くあり、間伐や刈り払いなどの環境整備が必要な場所は、市が積極的に関わり、地域と共に整備できる体制の構築が必要と思う。	本市では、林業事業体と協力して森林整備団地を作成し、森林整備を進めております。 私有林、地域で管理している山林等、整備が必要な森林については、市が積極的に関わり、林道、作業道などの林内路網の整備と併せて、災害が発生しないように取組んでまいります。	3

No.	該当 ページ	意見等要旨	市の考え方(案)	対応
7	44	再造林率10%の目標について 長野市森林整備計画では、林業経営に適した特に効率的な施業が可能な森林が設定されていないので、再造林が進まない状況である。特に効率的な施業が可能な森林を指定して、再造林が進むよう市で指導すべきである。	林業経営に適した特に効率的な施業が可能な森林に指定した場合、人工林を主伐した後には必ず再造林をしなければなりません。 森林所有者はこれまでに投資した経費と主伐により得た収入、次の主伐までにかかる保育費用を考慮して再造林をするか判断されるところと考えます。再造林は森林所有者の負担となることから、指定に当たり森林所有者との合意形成を図る必要があります。主伐による収入が見通せない状況で、将来の再造林の判断を求めることは難しいと考えます。更に長野市では森林の所有形態が小規模分散しているため、指定する範囲内に複数の森林所有者が存在し、全員と合意形成を図ることは非常に困難が予想されます。こうしたことから、再造林の必要性は認識しておりますが、森林所有者との合意形成が図られていない状況での、効率的な施業が可能な森林の指定は行っておりません。	4
8	23	山林を所有しているが、山林がどこにあるのかわからない。 図18では森林整備をするときには森林所有者宛てに通知があるようですが、所有している山林の整備をお願いしたいと考えている。	本市では、林業事業体と協力して森林整備団地を作成し、森林整備を進めております。 森林整備に関する通知等が届きましたら、森林整備への御理解、御協力をお願いします。	5

- | | |
|-----------|------------------------------------|
| 令和7年2月25日 | パブリックコメントの結果報告及び計画（案）について
協議・決定 |
| 令和7年3月10日 | 市議会各会派への計画決定の報告 |
| 令和7年4月1日 | 計画施行 |